

2021年8月4日  
 イオンフィナンシャルサービス株式会社  
 株式会社イオン銀行

## イオンカードセレクトを環境配慮型素材に順次切替

～銀行業界初<sup>\*1</sup>、リサイクルPVC<sup>\*2</sup>を使用したICキャッシュ・クレジット一体型カードが誕生～

イオンフィナンシャルサービス株式会社(東京都千代田区、代表取締役社長：藤田 健二)の子会社である株式会社イオン銀行(代表取締役社長：新井 直弘、以下、当行)は、「イオンカードセレクト<sup>\*3</sup>」に、環境配慮型素材であるリサイクルプラスチック素材(リサイクルポリ塩化ビニール (PVC))を採択し、環境に配慮した新カードに切り替えいたしますので、お知らせいたします。

イオングループでは、2018年に「イオン 脱炭素ビジョン50」を策定し、2020年9月に「イオン プラスチック利用方針」を定め、脱炭素社会および資源循環型社会の実現に向けて、持続可能なプラスチック利用に取り組んでおります。具体的には、「使い捨てプラスチックを減らす」「環境・社会に配慮した素材を使用する」などの視点から、リサイクル原料を使った買い物袋やマイバッグ、バイオマス由来の原料を使用したフィルム包装など、環境配慮型商品の拡充を進めてまいりました。

イオンフィナンシャルグループにおいても、イオンカードのご利用明細をスマートフォンアプリ「イオンウォレット」でご確認いただくことができる「WEB明細」や、国内外における植樹活動のほか、寄付・募金活動を通じた環境保全活動に取り組んでまいりました。

こうした中、当行では、脱炭素社会実現における課題解決への新たな取り組みとして、当行が発行する「イオンカードセレクト」(年間発行枚数約140万枚<sup>\*4</sup>)のカード製造において、「リサイクルプラスチック素材(リサイクルPVC)」を採用いたします。

新たに使用する素材は、PVC製品を取り扱う加工業者が廃材もしくは中間材を回収し、粉碎処理後に加工を行うものであり、同素材に変更することで製造過程において発生するCO<sub>2</sub>排出量の削減につながります。

今回の対応によって、イオンカードセレクト1枚あたり最大8.3グラム、5年間で約58.1t<sup>\*5</sup>のCO<sub>2</sub>削減効果が見込まれ、これは同じ量のCO<sub>2</sub>を吸収するために必要な森林面積は東京ドーム約1.4個分に相当します<sup>\*6</sup>。

リサイクルPVCを使用したICキャッシュ・クレジット一体型カードの発行は、銀行業界で初の取り組みとなります。今後当行は、自社が発行するそのほかのイオンカードにおいて環境配慮型素材を活用した新カードへの切り替えを順次行い、事業を通じた脱炭素の取り組みを推進してまいります。

今後も、当行はイオングループの一員として、お客さまやステークホルダーの皆さまとともに、環境問題や社会課題を解決し、持続可能な社会の実現を目指してまいります。

\*1 2021年8月3日当行調べ

\*2 ポリ塩化ビニール

\*3 キャッシュカード・クレジットカード・電子マネーWAONの3つの機能が一体となったカード

\*4 新規入会及びカードの更新・切替等を含めた年間発行実績をもとに算定

\*5 年間発行枚数×5年間で試算

\*6 林野庁HP参照